

第115回 看護師国家試験対策講座

■ スタディガイド 第1号(2025年4月30日)

CONTENTS

看護師国家試験の概要

勉強方法

勉強のお悩みQ&A

看護師国家試験の概要

1. 第114回看護師国家試験の講評

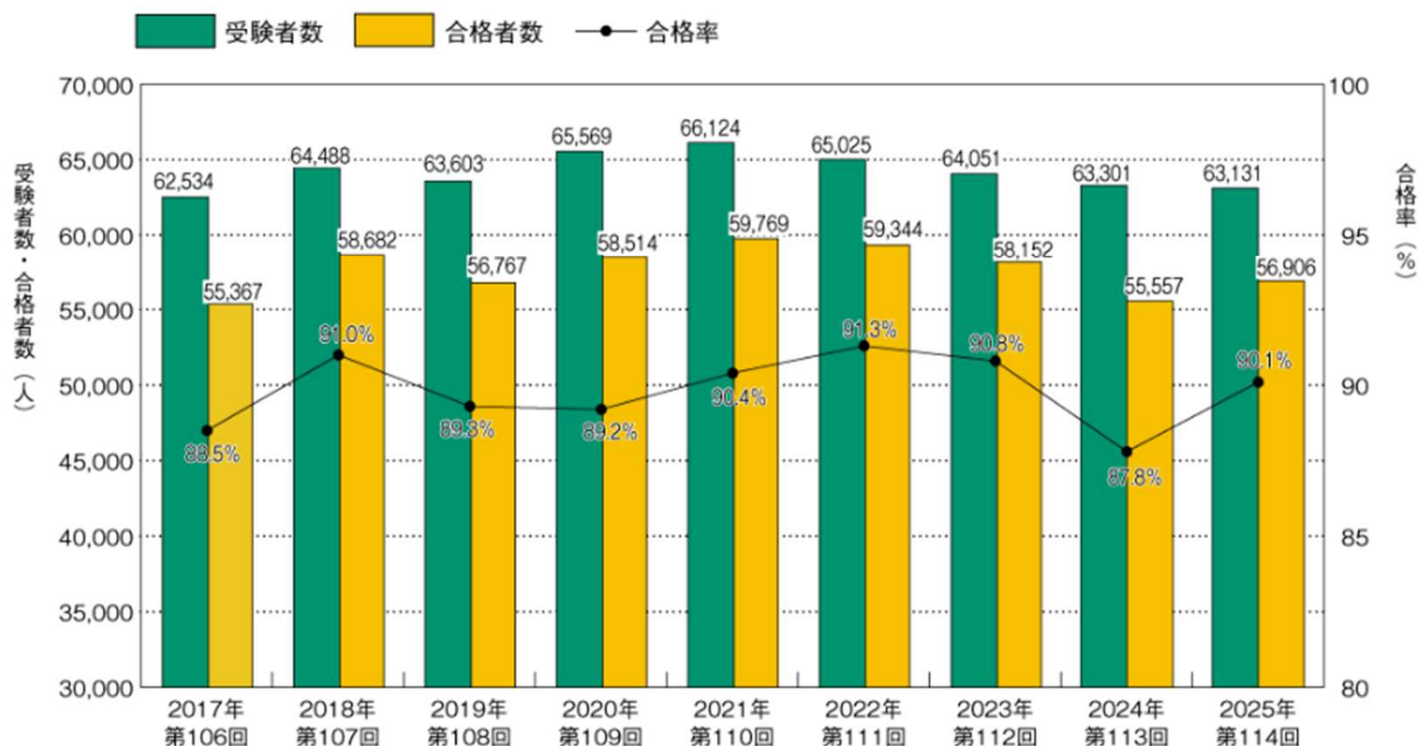
東京アカデミーが受験生40,792名から得た結果によると、第114回看護師国家試験の平均点は、必修問題46.4点（第113回42.0点）、一般＋状況設定問題179.6点（同189.6点）でした。

必修問題は五肢問題の出題はなく、50問中48問が正答率70%以上の問題で、昨年と比較すると解きやすい問題が多い印象でした。一般・状況設定問題では、患者の疾患名が設問文に記載されておらず、症状や検査データなどから患者の状態を推測して解く問題が何問か出題されました。単なる暗記では解けず、実際の看護に結びつく知識が求められていることがうかがえます。

全体として、2025年に団塊の世代が全員75歳以上になることから、第114回国家試験では加齢に伴う変化（3問）、地域包括支援センター（2問）、介護医療院など高齢者に関する問題が多く出題されていました。また、令和5年版出題基準で追加された項目からは、ポリファーマシー、プレコンセプションケアなどが出題されました。今後も基本事項をしっかり理解する勉強が求められます。

2. 受験者数・合格者数・合格率

例年、合格率は90%前後で、第114回の合格率は90.1%でした。また、新卒（合格率95.9%）と既卒（合格率44.9%）で大きな差があります。



続きは【友だち登録】で！